

第3回雪見旅行 雪の飯山線(北越雪譜行)

2024年2月22日～24日 2泊3日

案内人：蠟山 参加者：小林、播磨、松木、柴田、井上、松永、横山 018、武馬 025

宿泊：22日 かたくりの宿、23日 東横イン長野善光寺口

旅程：下地図参考



十日町/新潟での観光：十日町市博物館で火焰型縄文式土器、越後上布織り、雪と信濃川を見学。火焰型土器は今から約5000年前の縄文時代中期に造られた土器で、大きく立ち上がる突起が、燃え盛る炎のように見えることから命名されました。



昼食：十日町駅前そばやで新潟名物のへぎそばを楽しむ。少し水切りが良くないのか、水気たっぷりだったが、おいしかった。

2月22日(木)：

東京駅集合の松永が乗り遅れて、追っかけてくることになる。十日町で集合できた。

東京8:39着8:52発→(とき309号自由席)→越後湯沢10:20着10:41発→上越線(直江津行き、六日町、ほくほく線)

→十日町11:18着13:44発→飯山線→津南14:09着

越後湯沢から上越線(直江津行き、六日町、ほくほく線)で十日町に向かう。



十日町から津南町に向かう。女性車掌が頑張っていた。津南町で9名乗りジャンボタクシーに乗り、かたくりの宿(3部屋)/秋山郷/津南町へ向かう。ここも雪が少ない。かたくりの宿は、廃校になった地元小学校の旧校舎を改築した宿。



温泉付き(結東温泉)、夕朝食付き、輪かんじき、ミニハイキング(翌朝)付き。夕食には魚や肉がなく、地元の食材がメイン。柴田感激。温泉はぬるかった。



夕食後、10時まで懇親。ただ、柴田は食後すぐに寝床に向かう。

2月23日(金)(天皇誕生日)

津南 12:10 発→飯山線→北飯山下車→飯山 17:24 発→(はくたか 50号自由席)→長野 17:35 着

朝食後、9時から見倉橋に行く。雪が少ないのでかんじきは不要。長靴に替える人も数名。湧水が流れ、雪が解けている。一カ所湧水が滝のように流れ、道路に溢れ靴の中に入ってきて困った人数名。

まだ誰も歩いていないので、雪にボソッと足が入り倒れる人もいた。先頭グループが見倉橋に着いたときは、まだ吊り橋には人の足跡はなく、兎のような動物の足跡だけがあるばかり。



帰りに播磨が誰かと話をしていた。まだ人が歩いていない御蔵橋の写真を撮りに来たそう。残念でした。

タクシーが待っている。至急準備をしてチェックアウトし、タクシーで津南駅に戻る。津南駅そばで昼食を取る。畳席に年寄りが二人。昼から飲んでいる。我々も飲む。女将さん一人なので、大忙しで、食事を作ってくれた。津南から北飯山駅に向かう。途中、森宮野原駅には昭和 20 年の豪雪の際に、森宮野原駅付近で最高積雪 7.85m を記録した。積雪量は当時としては日本一で、その凄さを示す標柱が立てられている。



北飯山駅で降り、飯山城址、高橋まゆみ人形館、正受庵(臨濟宗中興の祖白隠禅師が師事した道鏡慧端禅師の住持寺)を見学する。高橋まゆみ人形館の老人人形は愛嬌のある顔が多かった。



雁木とよばれる雪国ならではのまちなみには多くの仏壇などの店があった。正受庵の本堂は、農家の家のようなだった。飯山駅までしばらく歩く。新幹線で長野へ。善光寺に行こうという話になり、東横インにチェックインしたあと、タクシー3台で本堂そばまで行く。盗まれたびんず尊者の木像に各自病氣やけががないようにとさわる。9人並び1000円で各自お祈りをする。



駅そばの養老の滝で本日の懇親をする。

2月24日(土) :

長野 9:13(長野電鉄、信州中野行き、680円)⇒9:50 小布施(タクシー)⇒10:00 岩松院
長野 15:03 発→(あさま 644号)→上野
16:34 着

長野駅から長野電鉄で小布施に向かう。駅にはタクシーがない。聞くと3台しか今日は動いていないという。岩松院で、北斎鳳凰図の説明を聞く。

一茶句碑は遠くから写真に撮るだけ。庭には入れなかった。

裏山の福島正則廟堂を見学。



せせらぎ緑道を歩き、ブドウ、林檎、栗などの冬枯れた木々を見ながら、北斎館に向かう。北斎館(北斎肉筆画)を見学。



昼食の店を探す。おそばはおいしかったとの感想。栗の小径を通り、高井鴻山記念館(豪商家屋、書画)を見学する。



帰りに栗菓子のお布施堂でお土産を買う人多数。これで今回の見学は全て終了。

小布施駅に戻るが、早めに着き、ちょうど良い特急があったのでそれに乗ることにした。切符は硬券であった。少し早めのあさま644で柴田以外は帰ることにした。列車内での飲み物を購入し列車内で懇親。

お疲れさまでした。